

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2013-14367(P2013-14367A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2011-148755(P2011-148755)

【国際特許分類】

**B 6 5 D 6/24 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 6/24 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月8日(2014.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

縦長連結部 2 b には、上端水平フランジ 2 c を延長することにより形成された上端水平板部 2 b 1 と、下端水平フランジ 2 d を延長することにより形成された、該上端水平板部 2 b 1 と相対する下端水平板部 2 b 2 と、相対する垂直側板部 2 b 3 と、奥壁 2 b 4 とにより形成された縦長空間部 A 1 が形成されている。縦長空間部 A 1 は、相対する垂直側板部 2 b 3 の先端 2 b 3 ' から奥壁 2 b 4 まで延在するとともに、相対する垂直側板部 2 b 3 及び奥壁 2 b 4 に接続された適当数の水平区画板部 2 b 5 が形成されており、このような水平区画板部 2 b 5 を形成することにより、縦長空間部 A 1 は、複数の副空間部 A 1 ' に区画されている。なお、説明の都合上、上端水平板部 2 b 1 と対向する水平区画板部 2 b 5 を、上端部水平区画板部と称し、符号 2 b 5 ' が付されており、また、下端水平板部 2 b 2 と対向する水平区画板部 2 b 5 を、下端部水平区画板部と称し、符号 2 b 5 '' が付されている。なお、本実施例には、4 枚の水平区画板部 2 b 5 が形成されている例が示されており、4 枚の水平区画板部 2 b 5 により、縦長空間部 A 1 は、5 個の副空間部 A 1 ' に区画されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

3 e は、相対する端部垂直側板部 3 d に形成された嵌合ブロック部材であり、嵌合ブロック部材 3 e は、端部垂直側板部 3 d に対して垂直な水平部 3 e 1 と、水平部 3 e 1 の先端部から垂直に上方に延在する垂直部 3 e 2 とから形成されている。嵌合ブロック部材 3 e は、長壁部材 2 の縦長連結部 2 b に形成された嵌合空間 A 2 の個数と同じ数、形成されている。本実施例においては、上述したように、長壁部材 2 の縦長連結部 2 b には、4 個の嵌合空間 A 2 が形成されており、従って、嵌合ブロック部材 3 e も 4 個形成されている。長壁部材 2 と短壁部材 3 とを連結した際には、嵌合ブロック部材 3 e の垂直部 3 e 2 が、嵌合空間 A 2 に嵌合されるように構成されている。また、短壁部材 3 の下端水平フランジ 3 c の裏面には、上述した長壁部材 2 の下端水平フランジ 2 d の裏面に垂設された嵌合ブロック B 1 と同様の嵌合ブロック B 1 が垂設されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

